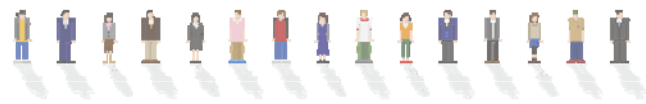


イマジカ・ロボットグループについて

JASDAQ 証券コード : 6879

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

Imagica Robot Holdings Inc.



2011年9月4日 (日)



目次

- P.2 グループ概要
- P.7 業績と今期予想
- P.11 各事業セグメントのご紹介
- P.26 付属資料



グループ概要



イマジカ・ロボットグループの沿革

| | |
|----------|--|
| 1935年2月 | 映画フィルム現像・上映用プリント事業を目的に、 株式会社極東現像所 として京都・太秦で創業 |
| 1942年 1月 | 商号を 株式会社東洋現像所 に変更 |
| 1986年 1月 | 商号を 株式会社IMAGICA に変更 |
| 1992年 7月 | 映像機器開発・製造・販売の株式会社フotronへ資本参加 |
| 1996年10月 | CSデジタル放送チャンネルを開局、放送事業を開始 |
| 1997年 9月 | 株式会社フotronが株式店頭公開 |
| 2006年 3月 | 株式会社ロボットと経営統合 |

| | |
|-----------|--|
| 2006年 7月 | 商号を 株式会社イマジカ・ロボットホールディングス に変更 |
| 2007年 2月 | アニメプロデュースの株式会社ジェンコに資本参加 |
| 2009年 2月 | 短編アニメ『つみきのいえ』が米国アカデミー賞受賞 |
| 2009年 5月 | 人材コンサルティングの株式会社デジタルスケープに資本参加 |
| 2010年 9月 | 新規事業としてインターネットメディア会社の株式会社マッシュメディアネットワークを設立 |
| 2010年 10月 | 2012年3月に放送開始予定の新BS放送の委託放送事業者に認定 |
| 2011年 4月 | 株式会社イマジカ・ロボットホールディングスが上場企業に |



会社概要

2011年4月1日現在

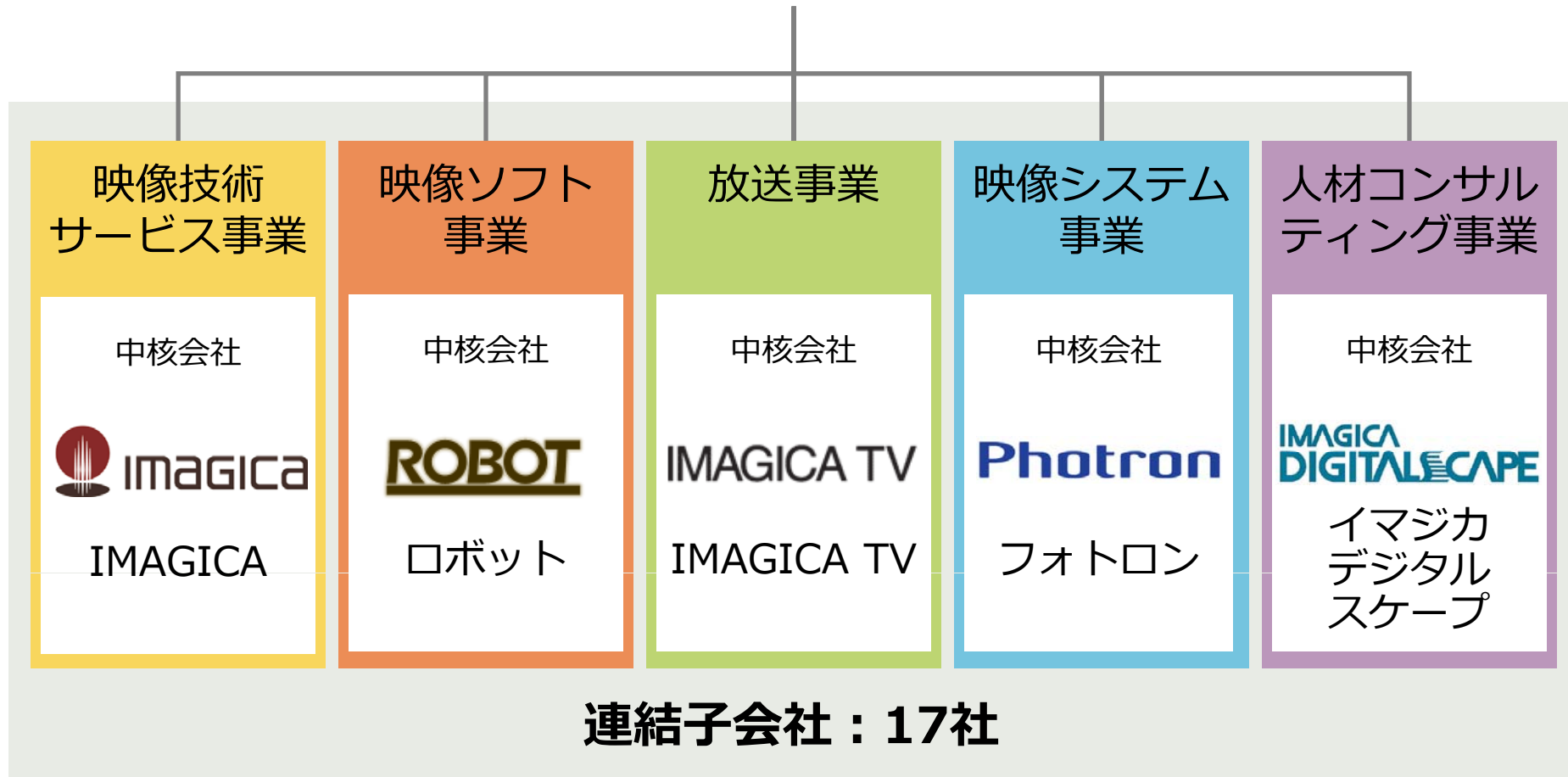
| | |
|-----------------------------|--|
| 会社名 | 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス (JASDAQ 証券コード : 6879) |
| 創業 | 1935年 (昭和10年) 2月18日 極東現像所として創業 |
| 本店所在地 | 〒141-0022 東京都品川区東五反田2-14-1 |
| 代表者 | 代表取締役会長 長瀬文男 、 代表取締役社長 長瀬朋彦 |
| 事業内容 | 映像技術サービス事業、映像ソフト事業、放送事業、映像システム事業、人材コンサルティング事業を営むグループ会社の株式保有ならびに事業の統括 |
| グループ会社 | 連結子会社 : 17社 |
| 従業員数 (2011年3月末時点) | 2,039名 |
| 発行済み株式総数 | 44,531,567株 (うち自己株式数5,158,000株、除く自己株式数39,373,567株) |



事業セグメント概要

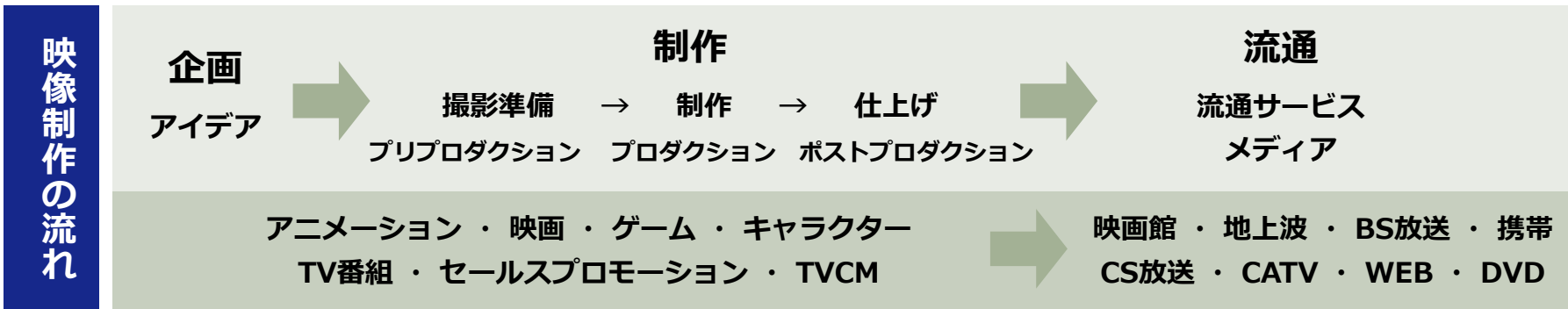
2011年7月1日現在

Imagica Robot Holdings Inc.
株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス



映像ビジネスにおけるバリューチェーン

映像制作の入口から出口まで、一貫したバリューチェーンを持つグループ



業績と今期予想



連結業績・今期(2012年3月期)予想

(単位：百万円)

| 区分 | 2011年3月期 | 2012年3月期 | | |
|-------|----------|----------|--------|--------|
| | | 第1四半期 | 半期（予想） | 通期（予想） |
| 売上高 | 50,817 | 10,905 | 24,720 | 53,700 |
| 営業利益 | 3,501 | 464 | 1,030 | 3,000 |
| 経常利益 | 3,469 | 462 | 1,020 | 2,970 |
| 当期純利益 | 1,412 | 341 | 720 | 1,900 |



次期配当（予定）

次期の配当金額（予定）：1株あたり15円

イマジカ・ロボットホールディングス
：2011年8月30日（終値）

| | |
|---------------|----------|
| 株価 | 384円 |
| 配当利回り （予想） | （連）3.91% |

【参考】各市場平均（予想）

| | |
|---------|-------|
| 日経平均 | 2.11% |
| 日経300 | 2.20% |
| 東証1部全銘柄 | 2.16% |
| （加重） | 2.40% |
| 東証2部全銘柄 | 2.31% |
| （加重） | 2.26% |
| JASDAQ | 2.38% |
| （加重） | 1.88% |

※8月30日時点



当社株式関連指標二期比較

- ・当社の実質上の存続会社は旧：株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスです
- ・形式上の存続会社である旧株式会社フォトロンの指標（下記）について参考標記しております。

| 区分 | 2011年3月期 | | | | | 2012年3月期 (予想) | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|--------------|--|------------------|--------------|
| | EPS | PER | BPS | PBR | | EPS | PER |
| 旧IRHD | 60.69 (注1) | — | 872.73 (注1) | — | 新IRHD | 48.26 (注3) | 7.96 (注5) |
| 【参考】 旧フォトン | 16.59 (注2) | 24.11 (注4) | 500.38 (注2) | 0.80 (注4) | ・ 2011年3月31日終値：400円 ・ 2011年8月30日終値：384円 | | |

| | 2011年3月31日 | | 2011年4月1日 |
|----------|------------|-----------|------------|
| | 旧:IRHD | 旧:フォトン | 新:IRHD |
| 発行済み株式総数 | 23,271,330 | 7,547,550 | 44,531,567 |
| うち自己株式数 | - | 250,111 | 5,158,00 |
| 除く自己株式数 | 23,271,330 | 7,297,439 | 39,373,567 |

(注1) 2011年3月31日の旧:IRHDの株式数を用いて算出しています。

(注2) 2011年3月31日の旧:フォトロンを除く自己株式数を用いて算出しています。

(注3) 2011年4月1日の新:IRHDを除く自己株式数を用いて算出しています。

(注4) 2011年3月31日終値を用いて算出しています。

(注5) 2011年8月30日終値を用いて算出しています。



各事業セグメントのご紹介



全社戦略

戦略の方向性

グループ一体化経営の促進

マーケット拡大

グループ知名度、信用度の向上

環境認識

デジタル化

ネットワーク化

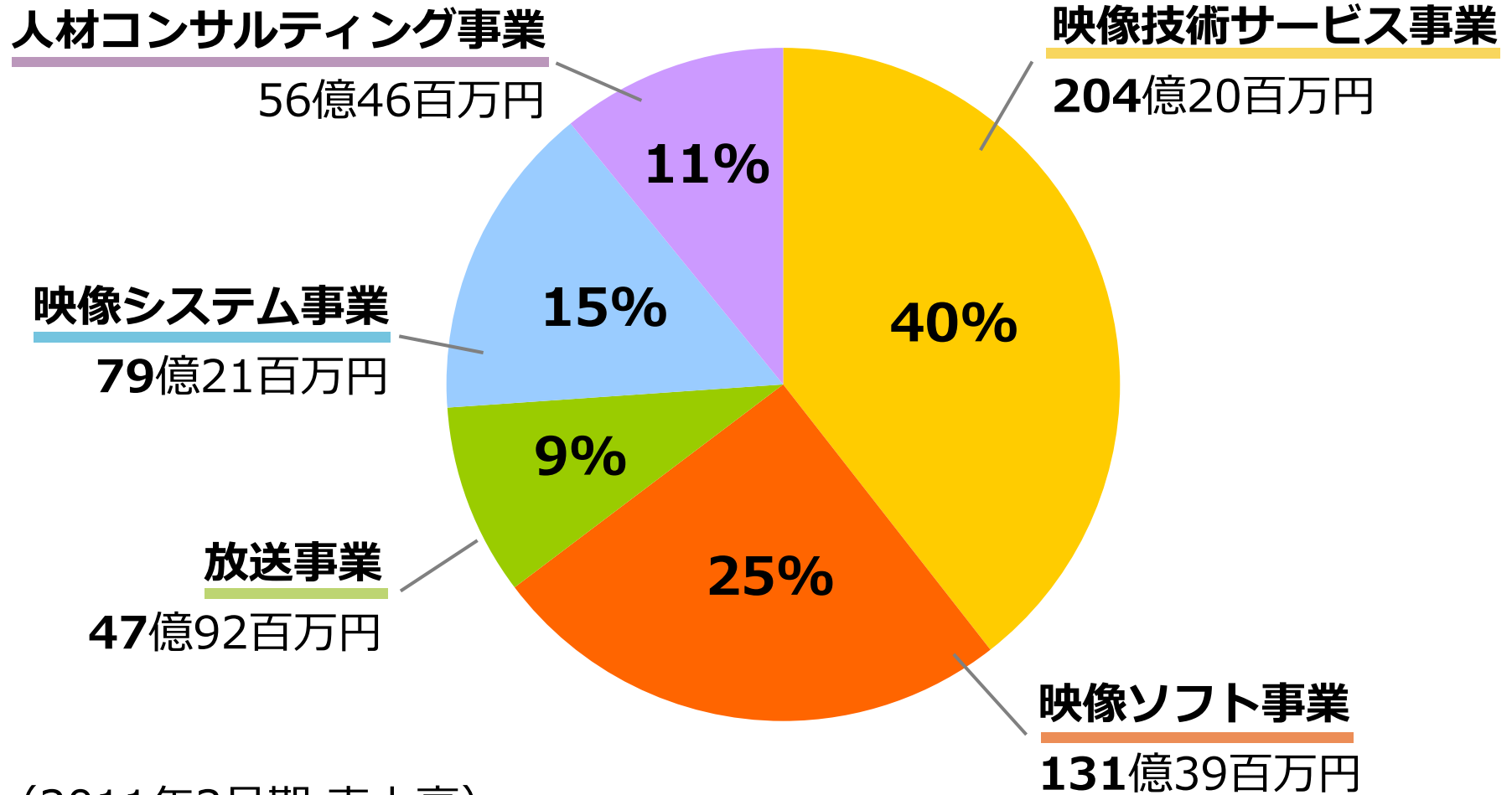
多メディア化

ボーダーレス化

B to Cの可能性



セグメント別構成



(2011年3月期 売上高)



映像技術サービス事業



事業内容

- ・映画フィルムの現像、プリント、合成加工
- ・テレビ映像の編集・加工
- ・各種メディア向け技術サービス
(VFX (注6)・CGI制作 (注7)、3D撮影・編集等)
- ・DVD/Blu-ray Discパッケージ化

(注6) VFXとは、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のこと。
(注7) CGI制作とは、コンピューターで生成・加工された画像の総称

撮影

3ality社製 3D撮影システム



映画・CM用撮影



テレビ番組用撮影スタジオ

制作

テレビ番組用 ハイビジョン編集室



CM用 ハイビジョン編集室



映画用 デジタルカラー
グレーディングルーム

上映/流通

劇場用フィルム プリントサービス
(IMAGICA 試写室)



デジタルシネマサービス



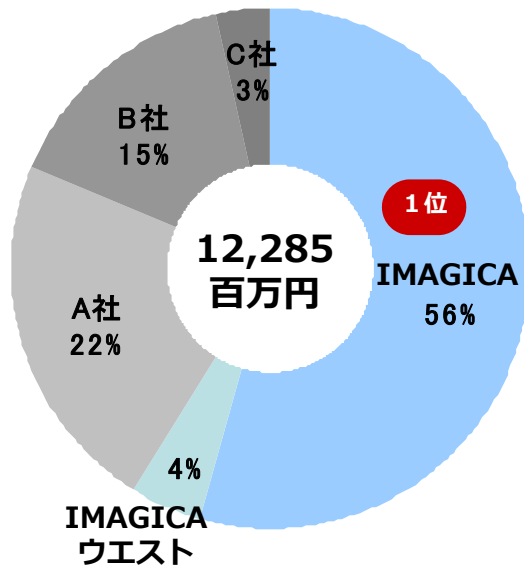
ブロードバンドコンテンツ
データエンコードサービス



映像技術サービス事業（主に編集・加工）の特長

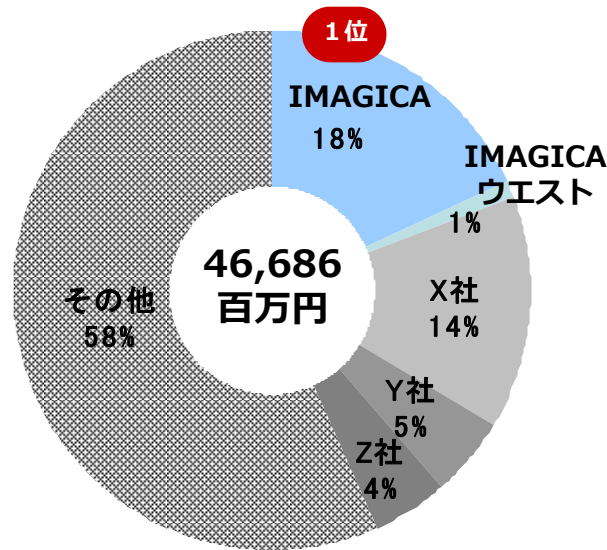
映画、TV、CM 等の分野で担う映像処理

映画フィルム現像市場
シェア（2009年）



（出所）帝国データバンク調査書より引用

ポストプロダクション（注8）市場
（2009年）



（出所）社団法人日本ポストプロダクション協会（JPPA）動向調査より

顧客のニーズに対応する
充実した設備と人材

テレビ局別に対応する設備

- ・ 湾岸スタジオ（フジテレビ内）
- ・ 品川プロダクションセンター
- ・ 赤坂ビデオセンター

※特にバラエティー番組に強み

グループ内で供給される
専門人材

（注8）ポストプロダクションとは、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。



映像ソフト事業

中核会社
ROBOT

その他
P.Y.C.S.  GENCO, INC.

事業内容

- ・映画、テレビ番組、アニメ、Web映像等の企画制作
- ・テレビCM等の広告制作
- ・ミュージックビデオ等の音楽映像制作
- ・各種映像コンテンツのライセンスビジネス (注9)

(注9) ライセンスビジネスとは、
著作物を利用したビジネスのこと

映画

テレビ番組、アニメ

テレビCM、ミュージックビデオ

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で作品をご紹介いたしました。



映像ソフト事業（主に映像制作）の特長

ロボットが制作・出資した主な映画作品

| 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 |
|---|--|----------------|-------------------------------|---|
| LIMIT OF LOVE 海猿 71.0億円 2位 | ALWAYS 続・三丁目の夕日 45.6億円 3位 | 少林少女 15.1億円 | K-20 怪人二十面相 ・伝 20.0億円 | THE LAST MESSAGE 海猿 80.4億円 2位 |
| UDON 13.6億円 | 銀色のシーズン 10.4億円 | | BALLAD 名もなき恋のうた 18.1億円 | 踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ 73.1億円 3位 |
| タイヨウのうた 10.5億円 | | | つみきのいえ 米国アカデミー賞 ・短編アニメ賞 | 2011年 SPACE BATTLESHIP ヤマト 40.5億円 |

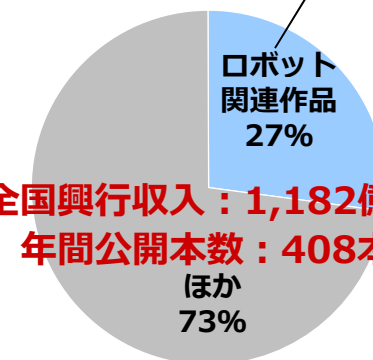
(出所) 一般社団法人日本映画製作者連盟、当社調べ



ROBOT

興行収入に占める ロボット関連作品 シェア (2010年)

- 1、THE LAST MESSAGE 海猿
- 2、踊る大捜査線 THE MOVIE3
- 3、SP 野望篇



全国興行収入：1,182億円
年間公開本数：408本

※ロボット関連作品は、制作および出資を含む

(出所) 一般社団法人日本映画製作者連盟



映像ソフト事業（主に映像制作）の取組み

映画分野

実績に根ざした受注拡大

【2011年度 制作・公開予定の映画作品】

- ・「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」 (2011年11月19日公開予定)
- ・「friendsもののけ島のナキ」…3Dアニメ (2011年12月17日公開予定)
- ・「ワイルド7」 (2011年12月21日公開予定)
- ・「ALWAYS三丁目の夕日'64」…シリーズ第3弾 (2012年1月21日公開予定) 等

CM分野 プロモーション分野 (音楽映像分野)

ブランド力を活かしたマーケットの拡大

- ・ 映画、CM、ミュージックビデオ等で築いたブランド力、クリエイティブ力を活かし、より広い「広告映像」マーケットへ
- ・ WEB、タブレットPC、スマートフォンに対応した新たなプロモーションの提案

ライツビジネス拡大

映画・アニメ・モバイル端末向けなどオリジナルコンテンツの企画制作



放送事業

中核会社
IMAGICA TV

事業内容


- ・衛星放送（BS/CS）、CATV、インターネット放送、ホテルペイテレビ等の番組の放送、コンテンツ供給
- ・映像コンテンツの企画・制作・編成

CSデジタル放送開始時（1996年）から事業開始

| | | |
|---|---|---|
| 洋画★シネフィル・イマジカ  | 食と旅のフーディーズTV  | 歌謡ポップスチャンネル  |
| 名画・名作系映画専門CH ハイビジョン放送 | 唯一の食専門Ch 特徴あるオリジナル番組 | 唯一の演歌専門Ch |

放送事業（主にチャンネル運営）の特長

独立系の一角として有料専門チャンネルを運営 -映画・食&旅・歌-

| | | | |
|------|--|--|--|
| | 洋画★シネフィル・イマジカ  | 食と旅のフーディーズTV  | 歌謡ポップスチャンネル  |
| 特長 | 幅広い年齢層の映画ファンをターゲット | 主婦やファミリーをターゲット | 40歳以上をターゲット |
| 番組紹介 | (番組画像) | (番組画像) | (番組画像) |
| | ※著作権等の都合上、HPでは画像を掲載しておりませんが、説明会ではスライド上で番組をご紹介いたしました。 | | |



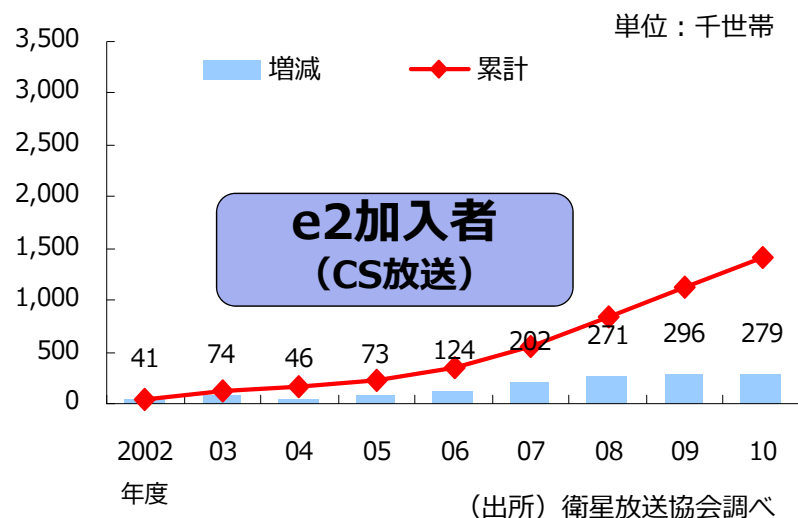
放送事業（主にチャンネル運営）の取組み

BSチャンネル 開局

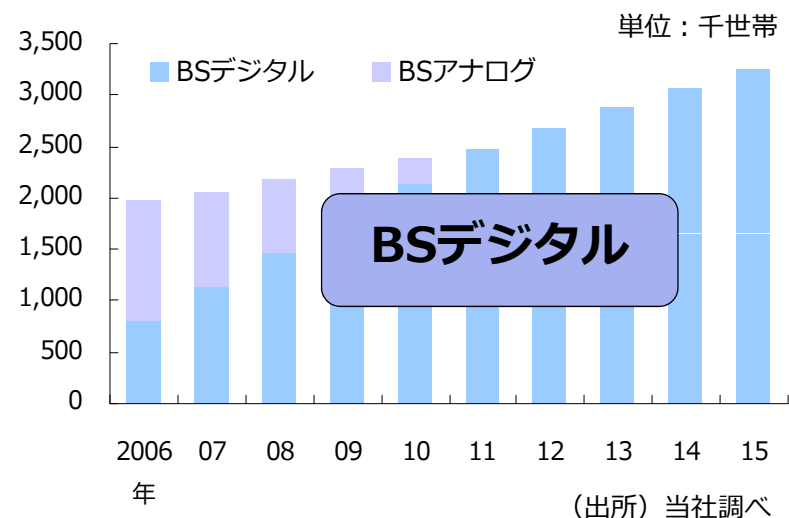
・2012年3月BS放送開局「IMAGICA BS」

110度衛星（BS/e2）は、今後家庭内の大型TVへの基幹メディア


e2加入者 純増数



BSデジタル視聴可能世帯数 見通し



各種デジタルメディア 対応サービス

- ・タブレット端末、スマートフォン向けの新サービス展開
- ・SNS(タベラッテ  [tabelatte](http://tabelatte.jp/) (注10))との組み合わせによるビジネス展開：「タベラッテTV」の放送

コンテンツのマルチユースによる利益率向上
B to B to Cビジネス展開への布石

(注10) 「タベラッテ」は、当社子会社が運営する料理レシピのソーシャルブログです。
<http://tabelatte.jp/>



人材コンサルティング事業(主にクリエイター派遣)の特長

事業内容

- ・ 人材派遣、人材紹介の人材コンサルティングサービス
- ・ WEB、GAME・CG等の制作受託サービス
- ・ 専任講師による人材育成



デジタルクリエイターとITエンジニアに特化

< 3つの分野におけるエージェント >

放送

WEB

ゲーム



教育研修



クリ博ポートフォリオ道場

- ・ 人気作品を担当できる強みでトップクラスの人材を確保
- ・ 顧客の要望に応じて、人材派遣・制作受託の双方のスタイルに対応
- ・ グループ内への人材供給



映像システム事業(主に映像機器開発・販売)の特長

事業内容

- ・ 画像計測システム（高速度ビデオカメラ等）の開発・製造・販売
- ・ 放送用映像機器、LSIの開発・製造・販売

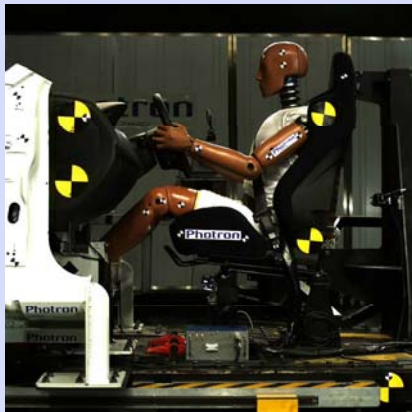
中核会社

Photron

放送・映像分野から学術分野、メディカル分野、官公庁と幅広く展開

ハイスピードカメラ

- ・ 海外マーケット販売

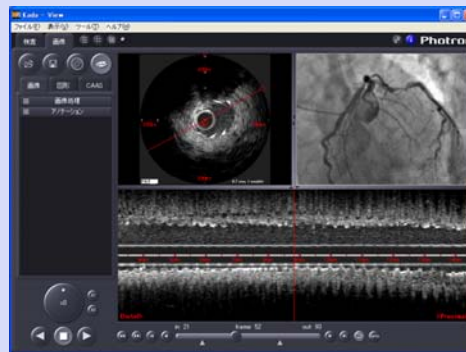


FASTCAM MH4
自動車衝突安全試験用



メディカル分野向け 画像機器

- ・ 医療系商社との販売協力体制



医用画像システム

放送局等向けの プロ映像システム

- ・ ソフト、ハード両面をカバー
- ・ システムインテグレーション

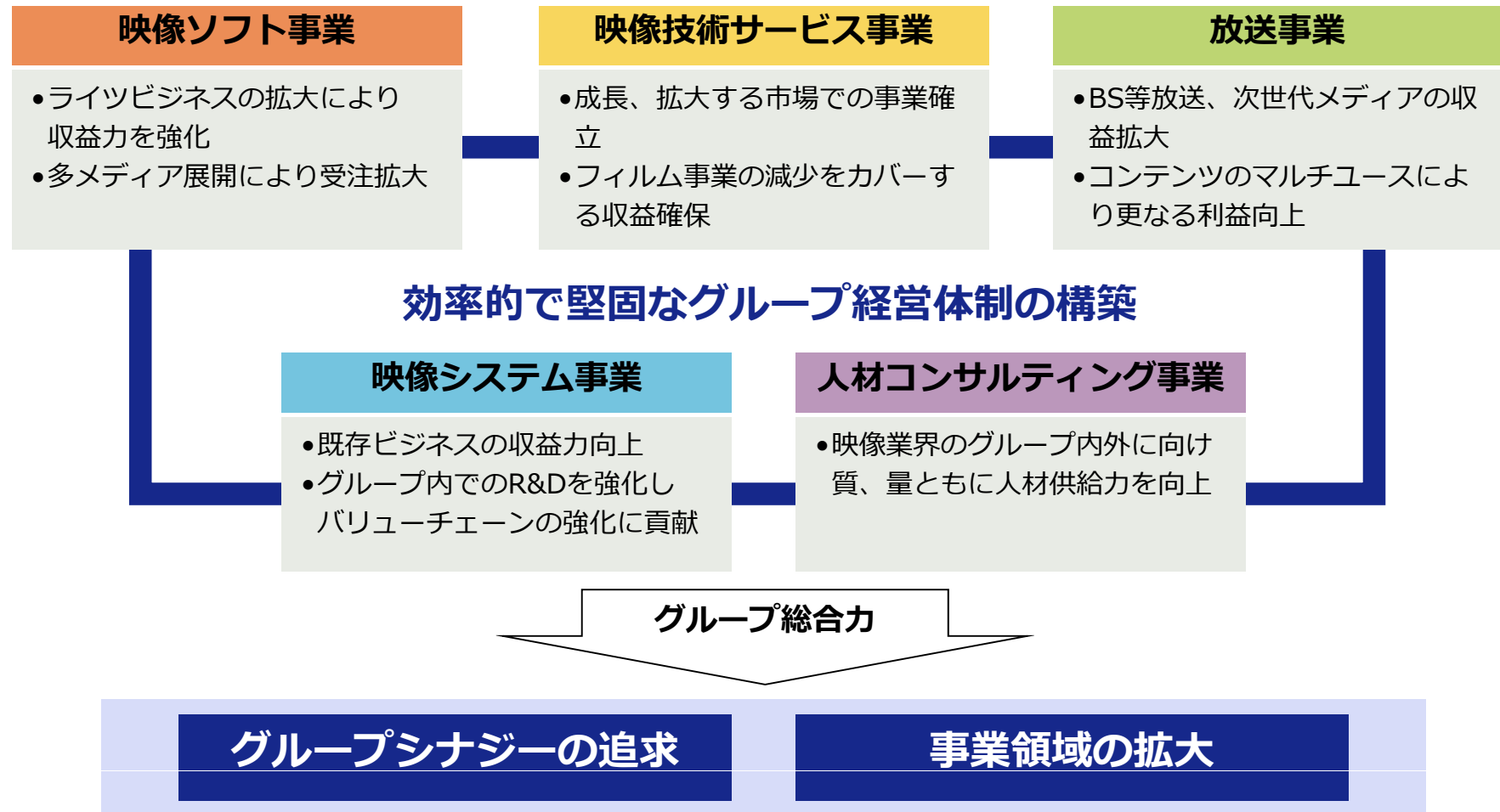


HDマルチチャンネルビデオサーバ



各セグメントのミッションとグループ連携

グループ一体化経営を促進し、よりバランスの取れた一貫性のあるバリューチェーンに



グループ経営理念

MAGIC FACTORY

Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic

イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、
映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、
人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。

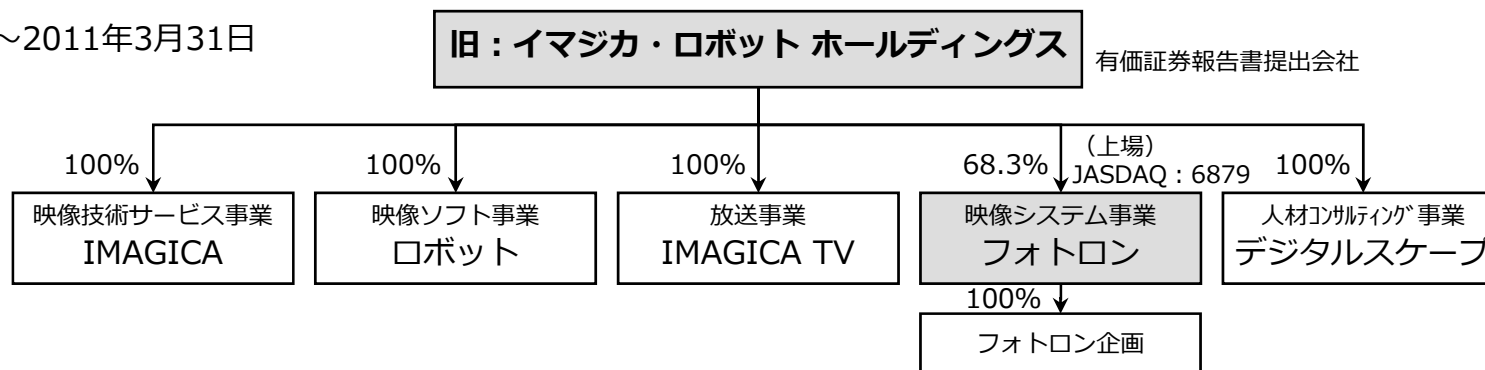
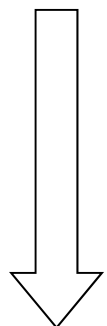


付属資料

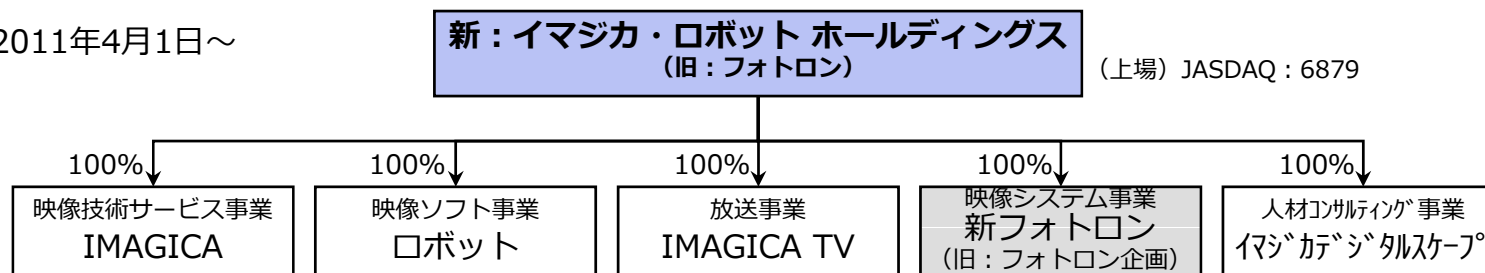


2011年4月1日 グループ組織再編

<旧：体制> ~2011年3月31日



<現：体制> 2011年4月1日～



旧フォトロンを100%子会社化

- ・人材活用、資金調達の効率化
- ・グループ内協業による事業拡大

新：イマジカ・ロボットホールディングス上場

- ・旧：フォトロンの少数株主の保護
- ・親子上場の課題解消
- ・資金調達の強化、管理コストの削減



財務関係情報(1) 第1四半期 連結貸借対照表

(単位 百万円)

| | 前連結会計年度 (2011年3月31日) | 当第1四半期 連結会計期間 (2011年6月30日) |
|--------|-------------------------|----------------------------------|
| 流動資産 | 25,239 | 25,762 |
| うち現預金 | 10,329 | 10,252 |
| 固定資産 | 14,323 | 14,395 |
| 資産合計 | 39,563 | 40,158 |
| 流動負債 | 15,370 | 15,710 |
| 固定負債 | 2,647 | 2,881 |
| 有利子負債 | 4,685 | 4,632 |
| 負債合計 | 18,017 | 18,592 |
| 株主資本 | 20,622 | 21,679 |
| 株主資本比率 | 52.1% | 54.0% |



財務関係情報(2) 第1四半期 連結損益計算書

(単位 百万円)

| | 前第1四半期 連結累計期間 (2011年3月期) | 当第1四半期 連結累計期間 (2012年3月期) | 対前年比 |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|---------|
| 売上高 | 11,604 | 10,905 | △6.0% |
| 営業利益 | 671 | 464 | △30.9% |
| 経常利益 | 667 | 462 | △30.8% |
| 特別利益 | 40 | 176 | +340.4% |
| 特別損失 | 170 | 9 | △94.6% |
| 税金等調整前四半期純利益 | 537 | 629 | +17.1% |
| 四半期純利益 | 195 | 341 | +74.5% |



当社の株価指標（PER）

PER（株価収益率） = 株価 ÷ EPS（1株あたり純利益）

イマジカ・ロボット ホールディングス：2011年8月30日（終値）

| | |
|--------------|-------------|
| 株価 | 384円 |
| 時価総額 | 17,100百万円 |
| 発行済み 株式総数 | 44,531,567株 |
| PER（予想） | （連）7.96倍 |
| 1单元 | 100株 |

【参考】各市場平均（予想）

| | |
|---------|--------|
| 日経平均 | 13.10倍 |
| 日経300 | 13.32倍 |
| 日経500平均 | 13.51倍 |
| 東証1部全銘柄 | 13.57倍 |
| 東証2部全銘柄 | 13.54倍 |
| JASDAQ | 14.28倍 |

※8月30日時点



ヒット作を生み出すディレクター陣

ロボット所属の映画監督 —20名以上の映画・CM・アニメーションディレクターが在籍—

| | |
|---|---|
| <p>本広 克行</p> <p>1998年より ロボットに所属</p> | <p>【主要監督作品】</p> <p>1998年 「踊る大捜査線 THE MOVIE」 1位 50.0億円 (注11)</p> <p>2003年 「踊る大捜査線 THE MOVIE 2 ～レインボーブリッジを閉鎖せよ～」 1位 173.5億円</p> <p>2005年 「交渉人 真下 正義」 3位 42.0億円</p> <p>2006年 「UDON」 13.6億円</p> <p>2008年 「少林少女」 15.1億円</p> <p>2009年 「曲がれ！スプーン」</p> <p>2010年 「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ！」 3位 73.1億円</p> |
| <p>羽住 英一郎</p> <p>2000年より ロボットに所属</p> | <p>【主要監督作品】</p> <p>2004年 「海猿 ウミザル」 17.4億円</p> <p>2006年 「LIMIT OF LOVE 海猿」 2位 71.0億円</p> <p>2008年 「銀色のシーズン」 10.4億円</p> <p>2009年 「おっぱいバレー」</p> <p>2010年 「THE LAST MESSAGE 海猿」 2位 80.4億円</p> <p>2012年 (予定) 「ワイルド7」</p> |
| <p>小泉 徳宏</p> <p>2003年より ロボットに所属</p> | <p>【主要監督作品】</p> <p>2006年 「タイヨウのうた」 10.5億円</p> <p>2008年 「ガチ☆ボーイ」</p> <p>2010年 「FLOWERS -フラワーズ」</p> |

(注11) 1999年以前は配給収入実績、2000年以降は興行収入実績



主な制作実績

主な CM実績

- ・麒麟淡麗〈生〉 (麒麟麦酒(株))
- ・企業広告 (旭化成(株))
- ・LEXUS CT200h (トヨタ自動車(株))
- ・iida (KDDI(株)) 等

主な 音楽映像実績

- ・EXILE 「PERFECT」 ライブツアー オープニング映像
- ・AKB 48 「Everyday、カチューシャ」 ミュージックビデオ
- ・倅田來未 「好きで、好きで、好きで」 ミュージックビデオ
- ・中島美嘉 「永遠の詩」 ミュージックビデオ
- ・倉木麻衣 「SUMMER TIME GONE」 ミュージックビデオ 等

主な モバイル プロモーション 実績

- ・PhoneBook (2010年カンヌ国際広告祭 Cyber Lion SILVER (銀賞))
- ・ペアムービー (2009年カンヌ国際広告祭 Media Lion GOLD (金賞))



用語解説（1）

| | |
|-------------------------------|--|
| プリプロダクション | 映像制作に取り掛かる前の作業全般をいい、出演者、制作スタッフの決定、制作の実行予算、スケジュールの策定、脚本や絵コンテなどの作成、撮影手法等の検討などを行う段階のこと。 |
| プロダクション | 実際の映像制作。撮影をメインに、作品に係るCG（コンピュータ・グラフィクス）の作成や音楽、効果音づくりを行う段階のこと。 |
| ポストプロダクション （ポストプロ） | 撮影素材を作品の流れに沿って編集を行う、色調を調整する、CGとの合成や音声と合わせるなど、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。 |
| VFX | Visual Effects（ビジュアル・エフェクツ）の略で、特撮を用いた映画やテレビドラマにおいて、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のこと。視覚効果（しかくこうか）ともいう。 撮影現場での効果をSFX（Special Effects, 特殊効果）と呼ぶのに対し、撮影後のポストプロダクション段階に付け加えられる効果をVFXと呼ぶ。 |
| CGI制作 | CGI（computer generated image）はコンピュータで生成・加工された画像の総称で、CGより意味が広い。CGI制作は、3次元コンピュータ・グラフィクスを描くだけに限らず実写画像データをフォト・レタッチなどで加工したり、3次元コンピュータ・グラフィクスと実写画像を合成し、新たな画像を生成すること。 |
| 3D撮影 | 3D映像は、2Dで通常に撮影されたものを変換技術を用いて立体映像化することもできるが、立体視は右眼・左眼の視差によるものなのでこれを応用し、2つのレンズでそれぞれ異なった角度で被写体を撮影する3D専用のカメラにより撮影する。 当社のシステムは、撮影と同時に視差（飛び出し／奥行き感）調整ができ、効果的な立体映像づくりが効率よく行える。 |



用語解説 (2)

| | |
|--------------------|---|
| デジタル上映 | 従来のフィルム映写とは異なる、映像や音声がデジタルデータ化された上映方式のこと。映画作品の映像・音声等全ての情報を物理メディア(HDDなど)に格納し、それを再生することで上映する。 |
| ライツビジネス | 著作物を利用したビジネスのこと。 |
| ディレクター (監督) | 制作現場を統括する責任者。企画、台本、出演者などを選び、演出、音響、照明、演技指導など、作品全ての責任を持つ。想像力や芸術的なセンスの他、統率力や判断力、長時間にわたるハードワークに耐える体力と気力も必要不可欠。 |
| プロデューサー | 映画やテレビ番組を企画、立案し、作品にする総合責任者。 |
| ハイスピードカメラ | 高速現象を撮影することを目的としたカメラ。ハイスピードカメラで撮影した映像を通常の速さで再生すると、スローモーションとして見ることができる。高速度ビデオカメラともいう。 |
| デジタルクリエイター | Web、3DCG、アニメーション、ゲームソフトなどの制作・デザインなどを専門とする制作者。 |
| ITエンジニア | 情報システムの詳細設計図にあたる仕様書を作るシステムエンジニアや、仕様書に基づいて実際にコンピューターを動作させるプログラマー、膨大なデータベース（商品情報・顧客情報など）に特化してシステムの設計・構築などを行うデータベースエンジニア、ネットワークの設計・構築などを行うネットワークエンジニア、実際にIT関連製品を販売するセールスエンジニア等の総称。 |
| エージェント | いわゆる代理人。日本では人材紹介（人材斡旋）会社のことを言う場合が多い。求職者や求人社に代わって契約交渉する。 |



お問い合わせ先

**株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
経営企画室**

T E L : 03-3280-7505 ※

F A X : 03-3280-7504 ※

Email : ir@imagicarobot.jp

URL : <http://www.imagicarobot.jp/>

※当社は、2011年9月26日に事務所の移転を予定しております。

以降の連絡先については、上記の当社ホームページ（URL）をご覧ください。

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。



